

令和元年度 小林市立小林小学校 自己評価書

4段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
-------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	家庭・地域との協働により、一人一人の子どもの実態を把握・共有し、個に応じた支援を行いながら知恵・声・汗を出す姿を見届けることを通して、自ら行動できる（学び、思いやり、きたえる）子どもの育成を目指す。
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価		結果の考察・分析および改善策等
				取組別	総合	
知 育	重点目標 自ら学ぶ子どもの 育成 手段 1 地域や社会へ の関心を高める。	1について 地域や社会に関心が ある子を増やす。 (80%)	1について (1) 地域や社会への関心についての実 態把握 (2) 授業等（生活科、社会科、こすも す科等）で、地域の人材や企業、身近 な出来事等を活用	3	3	1について ○ 児童のアンケートによると「地域や社会への関心」は、 73%が肯定的な意見で昨年度と同等であり、保護者のア ンケートでは、71%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業等で、身近な出来事や報 道、人材や企業を活用」については肯定的な意見が65% で昨年度より増えており、授業や行事との関連で積極的に 地域人材を活用することができている。 ◇ 地域や社会の情報活用については、目標値を上回るこ とができなかった。今後は、キャリア教育推進の視点から も取組を更に充実させていく必要がある。
	2 課題について、 他と協力して取 り組む力を高め る。	2について 自分で考えて答えら れる子を増やす。 (80%)	2について (1) 目的意識・課題意識についての実 態把握 (2) めあてやまとめの提示や学び方を 学ぶ等、目的・課題を明確にした指導 の工夫	3		2について ○ 児童のアンケートによると「授業中に自分でしっかり考 えて発表したり、答えたりしていますか。」の問いに74 %が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業中に自分の考えをしま りともたせる指導をしていますか。」の問いについては肯 定的な意見が85%であった。 ◇ 日々の授業の中で必ず「学習のめあて」を設定して学習 を進めているので、児童は、めあてを意識した学びがで きている。これからも目的・課題意識をもたせながら学習 に取り組ませていく。
	3 主体的に考え、 判断し、表現する 力を高める。	3について 対話的で深い学びの 場を増やす。	3について (1) 学年会、職員研修等での教材研究 (2) 学びの場を明確にした授業設計 (3) We b 評価システム活用と I C T 活用	3		3について ○ 児童のアンケートによると「授業はよく分かりますか。」 の問いに対して88%が肯定的な意見であり、「難しい問 題を周りと話し合いながら解決していますか。」の問いに 対して82%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業の中で学び合う場と時間 を保証」については肯定的な意見が81%であった。 ◇ 児童は授業に意欲的に取り組み、日々学力向上に努めて いる。学び合いの学習も積極的に取り入れ、活発に自分の 意見を言うことができる児童も増えている。We b 評価シ ステムも100%の活用ができている。

